礼儀作法 7 – 失礼を請うことの礼儀作法

[日本語]

كتاب الآداب – آداب الاستئذان

[اللغة اليابانية]

ムハンマド・ブン・イブラーヒーム・アッ＝トゥワイジリー

محمد بن إبراهيم التويجري

翻訳者： サイード佐藤

ترجمة: سعيد ساتو

校閲者： ファーティマ佐藤

مراجعة: فاطمة ساتو

海外ダアワ啓発援助オフィス組織（リヤド市ラブワ地区）

المكتب التعاوني للدعوة وتوعية الجاليات بالربوة بمدينة الرياض

1428 – 2007

7－失礼を請うことの礼儀作法

- **他人の家に入る時の礼儀作法：**

1－至高のアッラーは仰られました：﴾
信仰する者たちよ、その許しを請い、家人に挨拶することなしには他人の家に入るのではない。それがあなた方にとってよりよいことなのだ。あなた方が（このことに）教示を受けるのならば（きっとそうするであろうに）。﴿（クルアーン24：27）

2－至高のアッラーは仰られました：﴾
あなた方が他の家に入ったならば、あなた方の同胞にアッラーからの、祝福に溢れた美しい挨拶をするのだ。﴿（クルアーン24：61）

- **他人の家に入る時の許可の請い方：**

1－アブー・ムーサー・アル＝アシュアリー（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“（呼ぶなりドアをノックするなりして）3回許可を請うても返事がなかったら、立ち去るのだ。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[1]）

2－リブイー（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「バヌー・アーミルの民出身の男が、私たちにこのように語りました：彼は預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）が在宅中に、彼に（家に入る）許可を請い、こう言いました：“入ってもいいですか？”すると預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は使用人にこう言いました：“彼のところに行って、許可の請い方を教えよ。彼にこう言ってやるのだ：「アッ＝サラーム・アライクム（あなた方に平安あれ）。入ってもいいですか？」と言いなさい、と。”それで男はそれを聞き、言いました：“アッ＝サラーム・アライクム。入ってもいいですか？”こうして彼は入りました。」（アブー・ダーウードとアフマドの伝承[2]）

- **他人の家に入る許可を請う時に立つ位置：**

アブドッラー・ブン・ブスル（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「預言者（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は人々の家を訪れる時、扉の真ん前には立たず、その右側か左側の柱のもとに立ちました。そしてこう言ったものです：“アッ＝サラーム・アライクム（あなた方に平安あれ）

---

[1] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6245）、サヒーフ・ムスリム（2154）。文章はムスリムのもの。

[2] 真正な伝承。スナン・アブー・ダーウード（5177）、サヒーフ・スナン・アブー・ダーウード（4312）、ムスナド・アフマド（23515）。文章はアブー・ダーウードのもの。

。アッ＝サラーム・アライクム。”」（アブー・ダーウードとアフマドの伝承[3]）

● 　**奴隷や年少者の許可の請い方：**

　至高のアッラーは仰られました：﴿
信仰する者たちよ。あなた方の右手が所有する者たち（奴隷のこと）、そして成熟していない者たちには（昼夜通して）3度（の時間帯に）許可を請わせるのだ：（それはつまり）*ファジュル*（夜明け前の礼拝）の前と、あなた方が脱衣しているかもしれない正午（の休息時間）、そして*イシャー*（夜の礼拝）の後である。（これらは）あなた方のための（肌が露わになる）3つの私的な時間（である）。これらの時間帯の他は、あなた方も彼らも（許可を請うことなく）自由に互いに行き来しても罪はない。彼らはあなた方のもとを頻繁に廻る者たちであり、あなた方は互いに行き交う。このようにアッラーは、あなた方にみしるしを明らかにされる。アッラーは全てをご存知で、英知に溢れたお方である。﴾（クルアーン24：58）

● 　**許可なしには第3者をさしおいて内緒話しないこと：**

イブン・マスウード（彼にアッラーのご満悦あれ）は言いました：「アッラーの使徒（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言いました：“あなた方が3人でいる時、1人をそっちのけにして2人だけで内緒話をしてはならない。それは彼を悲しませるであろうから。”」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[4]）

● 　**許可なしには他人の家を覗かないこと：**

　アブー・フライラ（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（彼にアッラーからの祝福と平安あれ）は言いました：「誰かが許可もなくあなたの家を覗き、それであなたが彼めがけて石を投げつけ、それが彼の眼を失明させたとしても、あなたに罪はない。」（アル＝ブハーリーとムスリムの伝承[5]）

---

[3]
真正な伝承。スナン・アブー・ダーウード（5186）、サヒーフ・スナン・アブー・ダーウード（4318）、ムスナド・アフマド（17844）。文章はアブー・ダーウードのもの。

[4] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6290）、サヒーフ・ムスリム（2184）。文章はムスリムのもの。

[5] サヒーフ・アル＝ブハーリー（6888）、サヒーフ・ムスリム（2158）。文章はムスリムのもの。